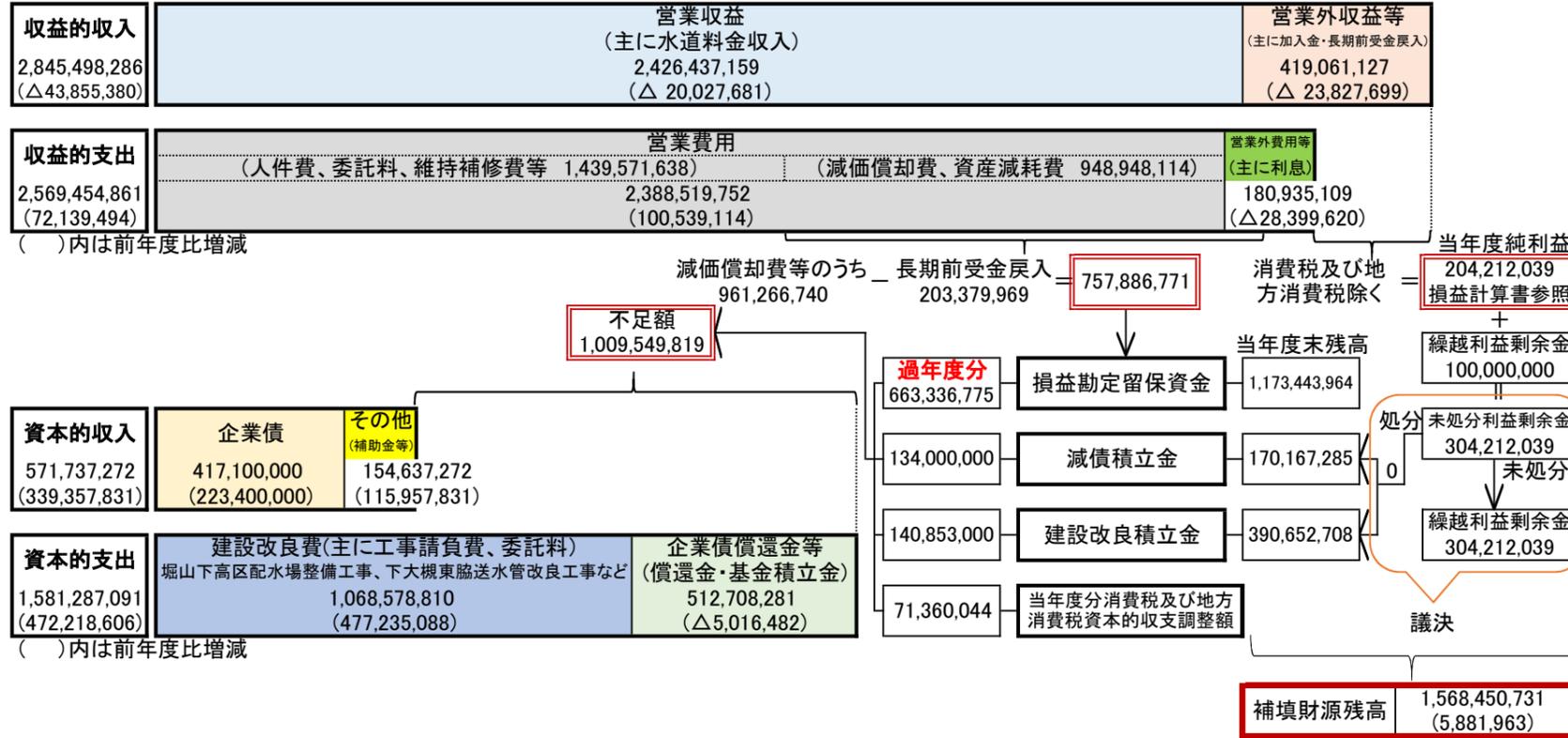


一目でわかる令和元年度秦野市上下水道事業会計決算の概要

令和2年8月27日 上下水道局経営総務課

【水道事業会計】



〈業務の状況〉 (前年度比)

給水戸数	78,011戸 (556戸 0.72%)
給水人口	164,634人 (△492人 △0.30%)
水道普及率	99.88% (0)
総給水量	19,538,279m ³ (△213,476m ³ △1.08%)
有収水量	18,290,519m ³ (△202,846m ³ △1.10%)
有収率	93.61% (△0.02)
県水受水量	4,278,870m ³ (111,840m ³ 2.68%)
県水割合	21.90% (0.80)
供給単価	120.18円 (△0.31円 △0.26%)
給水原価	121.08円 (6.42円 5.60%)
損益	△0.90円 (6.73円 △115.44%)

1m³あたりの収入 1m³あたりの製造費用 販売損失に転落

〈業務の状況〉 (前年度比)

処理区域内人口	141,701人 (△473人 △0.33%)
水洗化人口	128,983人 (836人 0.65%)
水洗化率	91.0% (0.9)
区域内水道メーター数	79,720個 (684 0.87%)
接続済水道メーター数	70,293個 (956 1.38%)
接続率	88.2% (0.5)
処 中央処理区	11,577,299m ³ (219,944m ³ 1.94%)
理 大根・鶴巻処理区	3,113,857m ³ (83,820m ³ 2.77%)
水 西部処理区	455,156m ³ (21,011m ³ 4.84%)
量 合計	15,146,312m ³ (324,775m ³ 2.19%)
使用料単価	142.85円 (△1.09円 △0.76%)
汚水処理原価	150.06円 (△2.50円 △1.64%)
損益	△7.21円 (1.41円 △16.36%)

1m³あたりの収入 1m³あたりの処理費用 処理損失は縮小

【公共下水道事業会計】

